

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成24年 6月 25日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 愛知県知多郡武豊町字北小松谷61-1 氏 名 日油株式会社 愛知事業所 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 事業所長 黒山 豊 電話番号 0569-72-1221	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日油株式会社 愛知事業所
事業場の所在地	愛知県知多郡武豊町字北小松谷61-1
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	16 化学工業
事業の規模	製造品出荷額：2,605,800万円
従業員数	669人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発・品質管理：①廃油→中間処理業者に委託して適正処理／②汚泥→中間処理業者に委託して適正処理 ・ 廃水処理施設：汚泥→脱水し中間処理業者に委託して適正処理 ・ 有機過酸化化物製造：①廃油→中間処理業者に委託して適正処理／②廃プラスチック類→容器等は自社にてチップ化し再資源化、中間処理業者に委託してRPF燃料化 ・ 機能フィルム製造：①廃プラスチック類→中間処理業者にて選別し再資源化 ・ 火薬類製造：燃えがら→中間処理業者に委託して適正処理

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 23年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ポリドラム等の容器はそのまま再生利用している。		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 23年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ポリ容器等は破碎粉碎によるチップ化し、再資源化を図っている。		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 23年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 23年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り最終処分量の低減を図るべく、中間処理による減容可能な業者への委託を実施している。 ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施している。		

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・新規委託業者の選定に際し、優良認定処理業者を考慮する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 項目		汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物	燃えがら	ガラス・陶器くず
		廃水処理汚泥・廃 原材料・残さ	廃フィルム・廃原材 料・ポリ容器等	安定型品目、OA 機器等		廃容器等
■産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	排出量	47,865.407	427.676	19.080	7.210	2.238
②計画	排出量	46,000.000	412.000	20.000	7.000	1.000
■自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
■自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量した産業廃棄物の量	45,024.970	12.640	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量する産業廃棄物の量	43,000.000	12.000	0.000	0.000	0.000
■自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
■産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	全処理委託量	2,840.437	415.036	19.080	7.210	2.238
	優良認定処理業者への処理委託量	35.980	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用業者への処理委託量	0.000	314.570	1.610	2.890	0.000
	認定熱回収業者への処理委託量	1,189.429	7.756	9.450	0.000	0.930
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	全処理委託量	3,000.000	400.000	20.000	7.000	1.000
	優良認定処理業者への処理委託量	5.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用業者への処理委託量	0.000	350.000	2.000	7.000	0.000
	認定熱回収業者への処理委託量	1,500.000	5.000	10.000	0.000	1.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

産業廃棄物の種類 項目		廃油	金属くず	廃酸	木くず	合計
		製造残さ、廃原材料、廃試薬類	廃材、廃原材料	廃液、試薬類	パレット	
■産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	排出量	40.001	0.050	1,484.000	50.270	49,895.932
②計画	排出量	38.000	0.100	3,000.100	50.000	49,528.200
■自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
■自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量した産業廃棄物の量	8.075	0.000	1,484.000	0.730	46,530.415
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量する産業廃棄物の量	8.000	0.000	3,000.000	0.000	46,020.000
■自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
■産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	全処理委託量	31.926	0.050	0.000	49.540	3,365.517
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	35.980
	再生利用者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	49.540	368.610
	認定熱回収業者への処理委託量	23.700	0.000	0.000	0.000	1,231.265
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	全処理委託量	30.000	0.100	0.100	50.000	3,508.200
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	5.000
	再生利用者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	50.000	409.000
	認定熱回収業者への処理委託量	20.000	0.000	0.000	0.000	1,536.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000